

令和2年度

三沢市教育委員会

会 議 録

7 月 定 例 会

三沢市教育委員会 令和2年度 7月定例会

1 日 時 令和2年7月27日(月) 13時57分 開会
15時44分 閉会

2 場 所 三沢市役所 別館4階 第1研修室

3 出席委員

教 育 長	富 田 敦
委 員	立 花 肇
委 員	相 沢 靖 恵
委 員	黒 沢 のぞみ
委 員	本 江 宏

4 出席職員

教育部長	小 泉 厚 子
教育総務課 課長	種 市 明 人
教育総務課 副参事兼課長補佐	佐 藤 英 一
学務課 課長	村 上 輝 仁
学務課 課長補佐兼学務係長	田 代 まゆみ
学校教育課 課長	太 田 浩 之
学校教育課 課長補佐	桐 原 賢 哉
生涯学習課 課長	山 本 京 子
生涯学習課 課長補佐	池 田 修
学校給食センター 所長	小 島 一 人
学校給食センター 所長補佐	宮 古 順 一
教育総務課 副参事兼課長補佐(書記)	今 村 多美代
教育総務課 教育総務係長	鳴 海 拓

5 傍聴者 2名

6 議事日程 別紙のとおり

【別紙】

三沢市教育委員会 令和2年度7月定例会 議事日程

第1 開会

第2 会議録署名委員の指名

第3 会期の決定

第4 前回会議録の承認

第5 議事案件

議案第2号 令和3年度使用中学校教科用図書の採択について

議案第3号 令和2年度三沢市文化賞等表彰者の提案及び社会教育委員への諮問について

第6 報告案件

報告第8号 G I G Aスクール構想に向けた環境整備について

報告第9号 教育長の主な活動報告（6月～7月）について

第7 その他

第8 閉会

開会 13時57分

○日程第1 開会

■富田教育長

出席委員は定足数に達しておりますので、委員会は成立いたします。

ただ今から、令和2年度7月定例教育委員会を開会いたします。

お手元に配付してある議事日程により、会議を進めます。

○日程第2 会議録署名委員の指名

■富田教育長

会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、黒沢委員と本江委員を指名いたします。

よろしくお願いたします。

○日程第3 会期の決定

■富田教育長

会期についてお諮りいたします。

会期は、本日27日の1日でよろしいでしょうか。

(「異議なし。」と声あり)

それでは、本日の1日といたします。

○日程第4 前回会議録の承認

■富田教育長

前回会議録の承認についてお諮りいたします。

前回の会議録は、お手元に配付しておりますが、会議録のとおり承認としてよろしいでしょ

うか。

(「異議なし。」と声あり)

ご異議ございませんので、承認といたします。

○日程第5 議事案件

■富田教育長

続いて、議事案件に移ります。

議案第2号 令和3年度使用中学校教科用図書の採択についての議案は、一連の手続きが終了するまで、公開できない案件でありますので、先例により非公開として別室での審議といたしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし。」と声あり)

ご異議ございませんので、非公開として別室審議といたします。

次に議案第3号 令和2年度三沢市文化賞等表彰者の提案及び社会教育委員への諮問についての議案は、個人情報が含まれる案件でありますので、先例により非公開として別室での審議といたしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし。」と声あり)

ご異議ございませんので、非公開として別室審議といたします。

○日程第6 報告案件

■富田教育長

続いて、報告案件に移ります。

報告第8号 GIGAスクール構想に向けた環境整備についてを議題といたします。

事務局より、説明をお願いします。

■教育総務課長

報告第8号 GIGAスクール構想に向け

た環境整備について、ご説明いたします。

お手元の資料をご覧ください。

事業の概要といたしましては、国が進める「GIGAスクール構想」の実現に向け、全小中学校の普通教室などに無線LAN環境を整備し、学習用タブレットを3,345台導入し、児童生徒1人に1台を配布するものであります。整備内容といたしましては、タブレット端末が3,345台になり、このうち、6月補正で2,264台、これは、小学校4年生から中学校3年生分になります。7月補正で1,081台、これは、小学校1年生から小学校3年生分で、予算の措置をしております。

その他、周辺機器として、大型提示装置、大型テレビですが7月補正で58台分予算措置しております。

全小中学校の校内無線LAN環境については、普通教室などに整備する費用を6月補正で予算措置しております。

事業費については、情報機器整備費が全体で2億746万4千円、無線LANの環境整備費が1億2,710万円となります。

以上でございます。

■富田教育長

ただ今の報告につきまして、委員の皆様から、ご質問等ございますか。

(「なし。」と声あり)

今の報告につきましては、新聞等にも掲載されており、委員の皆様も大体の概略や方向性を把握しているかと思えます。今回は、以前からもご説明しておりましたことに対し、予算の裏付けがされたということです。

当初は、令和5年度、令和4年度までに完結されることになっていましたが、諸般の事情や国の予算が付いたということで、それを活用し、一人1台のタブレットを整備していくということです。

それでは、報告第8号 GIGAスクール構

想に向けた環境整備についての報告は、終わりといたします。

次に、報告第9号 教育長の主な活動報告 6月から7月についてを議題といたします。事務局より、説明をお願いします。

■教育総務課長

報告第9号 教育長の主な活動状況の6月から7月について、ご説明いたします。

お手元の資料をご覧ください。

令和2年6月の主な活動につきましては、2日火曜日は、三沢市議会第2回定例会の提出議案に係る記者会見での対応を行っております。8日月曜日から、市議会の開会、一般質問に対する答弁書検討会を経て、一般質問、特別委員会での対応を行っております。22日月曜日は、子供の読書活動優秀実践団体に対する文部科学大臣から表彰された「語りの会はまなす」の受賞報告会に立ち合いをしております。24日水曜日は、三沢市連合PTA安全確保プロジェクト改善要望に対する回答書の手交式を執り行いました。25日木曜日は、継続して開催しております臨時校長会で新型コロナウイルス感染症防止について協議を行っております。30日火曜日は、三沢市防災協会からの「消毒用物品等」の寄贈式を行っております。

次に、7月の主な活動につきましては、6日月曜日は、教育委員とともに例年実施している市内小中学校の学校訪問として、第二中学校他4校を訪問しました。その後、9日木曜日、15日水曜日、17日金曜日の4日間で全小中学校を訪問し、各校の新型コロナウイルス感染症対策などの取り組みを視察し、校長先生方との意見交換を行いました。7日火曜日は、上十三地区保護司会からの「ミニノート」の寄贈式を行っております。11日土曜日は、みさわわくわくサマーゼミナールに出席しております。20日月曜日は、第3回上十三地区教科用図書選

採協議会に出席しております。22日水曜日は、三沢市議会第2回臨時会での対応を行っております。

以上で説明を終わります。

■富田教育長

私からは、7月16日に実施した学校教育支援員研修会の報告について、補足をしたいと思っております。

昨年度まで学校へ配置していた支援員は、特別支援教育支援員と学習支援員とに分かれておりましたが、今年度から、会計年度任用職員という制度的な変更がありましたので、この機会に学校教育支援員と職名を変更・統合し、職務内容も幅広く変更いたしました。

その変更点を支援員さんへ明確に伝えるための研修会を実施しております。

その職務内容については、まず1つ目は、従来の職務である子供たちへの支援や指導の部分、2つ目に子供たちの状態が良い時に、例えば学級の掲示物の張替えや学担が行っている印刷をするなど、教室の整理整頓を含め、学担の負担軽減のための公務支援をプラスし、教職員の働き方改革とをマッチングさせました。3つ目は、校長からの指示で依頼されたことを機能的・効果的に活動できるように変更しました。校長へも支援員の職務内容の変更を伝えておりますので、共通理解するため、研修会を実施いたしました。

学校訪問の際に、手の空いている支援員さんたちが数名で教室等の消毒作業をやっておりましたが、そのような形で活動できるようにいたしました。

以上でございます。

ただ今の報告につきまして、私からの報告を含め、委員の皆様から、ご質問等ございますか。

(「なし。」と声あり)

それでは、ないようですので、報告第9号

教育長の主な活動報告6月から7月についての報告は、終わりいたします。

○日程第7 その他

■富田教育長

続いて、その他に移ります。

委員にお知らせする事項をお手元に配付しておりますので、教育総務課からお願いします。

■教育総務課長

教育総務課からは、お手元の資料に基づきまして、その他報告事項の1番目として、「ふるさと三沢大学生等応援給付金状況について」ご説明いたします。

受付期間は、令和2年5月25日から、令和2年9月30日までとなっております。

概要といたしましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、学業の継続が困難になることが見込まれる三沢市にゆかりのある学生等に対し、10万円を給付するものであります。

申請件数は、令和2年7月17日金曜日現在で、619件、給付金額は、6,190万円となっております。

教育総務課からは、以上でございます。

■学校教育課長

では、学校教育課からのその他の報告事項をご説明します。

まずは、6月の定例教育委員会で説明をさせていただきました「三沢市中学校スポーツ交流会」ですが、この4連休で野球・陸上・サッカー・バレーボール・バスケットボール・卓球の6競技を実施することができました。ソフトテニスについては、8月1日に実施の予定です。部活動で練習を積み重ねてきた生徒たちが、その力を発揮し、喜びを味わっておりました。

この交流会の趣旨と同様に、吹奏楽についても三沢市の中学生を対象とした演奏会を開催することにいたしました。

資料をご覧ください。

例年、上北地区吹奏楽連盟が主催する演奏会やコンクールが中止となったため、三沢市では中学校長等が実行委員会を組織し、替わりの行事として演奏会を開催するもので、三沢市教育委員会の共催事業として行います。名称は「三沢市中学校吹奏楽交歓演奏会」とし、令和2年8月30日に三沢市公会堂を会場として、吹奏楽部のある市内中学校で、第一中学校・第二中学校・第五中学校・堀口中学校の吹奏楽部による演奏を行います。

運動部活動と同様に、練習を積み重ねてきた生徒たちの力を発揮させたいと考えております。

次に、生き活きみさわっ子事業「眠育のススメ」について説明します。

資料1ページをご覧ください。(1)の三沢市の現状ですが、睡眠の大切さや上手な睡眠の取り方を理解できていないということが各校の情報交換から出されていきました。そこで、ねらいに書いてあるとおり、「児童生徒の依存に負けない生活習慣とよりよい生活習慣を目指し、「眠育」の視点による保健指導や健康指導を通して、児童生徒の眠育に対する理解を深め、生活習慣の改善や健康の保持増進の一助」にしたいと考えております。

2ページをご覧ください。実際の活動としては、子供たち一人一人が2週間程度睡眠の様子を「すいみんログ」というシートに記入し、類型化を図るものです。「すいみんログ」から睡眠のパターンを判定し、問題のある場合に、睡眠の目標を立て、生活習慣改善を図り、子供たちの生活に還元していこうとするものです。既に取り組んでいる学校もありますが、2学期を中心に取り組み、12月の三沢市健康教育研究発表会で実践発表をする予定にしています。

以上2つの事業等について説明しましたが、

いずれも新型コロナウイルス感染症の対策をとって進めていきたいと考えています。

以上でございます。

■富田教育長

ただ今、その他の報告につきまして、教育総務課と学校教育課から説明いただきましたが、他の課からございませんか。

(「なし。」と声あり)

それでは、ないようですので、委員の皆様から、ご質問等ございますか。

■立花委員

ふるさと三沢大学生等応援給付金について、対象がゆかりのある大学生で、最大850人とありますが、現在確認されている大学生が850人ということでしょうか。

■教育総務課長

ふるさと三沢大学生等応援給付金についてですが、対象者となる大学生等を把握することは、非常に困難であります。この最大人数850人は、三沢市出身の大学生等を推定した人数であり、三沢市統計や青森県学校基本調査により三沢市内の中学校を卒業し、高校に進学している人数を基に大学等の率を推計して求めた人数です。

■立花委員

ちなみに、三沢市の場合は色々な家庭環境の方がおりますので、子供が卒業してから転勤する方もおり、三沢市から転出する場合がありますが、そのような方は、対象になりますか。

■教育総務課長

大学生に関しては、三沢市外に居住し通学している方が殆どです。対象となる大学生は、三沢市内の小中学校を卒業していることと、現在扶養している親御さんが三沢市内に居住して

いることが条件となっており、そのようなことから、三沢市にゆかりのある学生等としております。

■富田教育長

給付金が足りなくなることがないように、最大で850人としましたが、財政課でも少し余裕をもって予算化した方がよいとのことで、対象者を若干多めにしておりました。

その他、ございますか。

黒沢委員さん、先ほど説明した眠育についてはいかがでしょうか。

■黒沢委員

生き活きみさわっ子事業「眠育のススメ」については、「すいみんログ」をとる方法は大変わかりやすくして良いと思いました。中には、睡眠障害を持っているお子さん、例えば発達障がいを持つお子さんで睡眠のリズムが1か月の中で、どんどんずれていくことや生活リズムがずれているお子さんだと休み明けにずれていくという傾向が伺えます。出来れば、4週間記録するとわかりやすいのですが、なかなか続かないので、2週間ということですが、講義を聞くだけではなく、自分の状態や実際の姿を知るという意味で良い方法であると思いました。

実際には既に睡眠リズムが崩れているお子さんがいると思います。そしてこれをしたからとすぐに効果が出るものではありませんが、この子たちが、次の世代を育てる時にこの教育が生きてくると感じました。習慣というのは親から子へと受け継がれるものですので、次世代に親になる子への教育と捉えていければ、今直すことは難しいと思いますが、今からきちんと伝えることで心に残っていて、自分が親になった時の子育てにプラスになるのではないかと思います。今後、継続していければ、5年・10年後の成果というものが楽しみである取り組みだと思えました。

■富田教育長

黒沢委員からもお話がありましたが、習慣づくりというのは、時間もかかるし、手間もかかりますので、根気比べになります。1年・2年の結果でよし悪しの判断ができるものではありませんので、ある程度のスパンを計画的に行い、保護者の理解を深めていながら生活習慣の改善を進めていきたいと思っております。

他に、ご質問等ございますか。

(「なし。」と声あり)

それでは、ないようですので、その他については、終わります。

最後に委員の皆様から確認したい事やご意見・感想等をいつもの順番でお願いします。

■本江委員

学校訪問についてですが、今回非常に短い時間でありながらも学校の様子がかなりみられました。心配しておりました、小学校1年生と中学校1年生の入り口の部分が非常に良く、上手に指導してくださっており、それぞれの学校のペースに乗っていて順調であると感じ安心しました。先生方は、大変ご苦労なさったと思います。

また、中体連の代替のスポーツ交流会ですが、子供たちは、現在持っている力を十分発揮されていたと思います。もちろん例年に比べますと練習していませんので、走っている途中でつまずいたりしていましたが、一生懸命でした。そして、やはり試合ですので、負ければ悔しさを表に出すなど、良い姿をいくつも見ることができました。

コロナ対策については、各会場で細かいところまで気を使っていました。特に陸上競技のハードルは、準備する人が少ないにも拘らず走るたびに一本一本消毒していました。ある面では、子供たちは今までにない非常に良い体験ができたと思います。競技団体の方が少なかったた

め先生方だけでやっていたのですが、大昔の中体連を思い出しながら観戦していました。バスケットボール競技も通常は2面使うのですが、1面だけ使っていて気を配った方法で行っていました。

一番良かったと感じたのは、どの会場でも子供たちのきちんとした態度でした。先生方の普段の指導が活かされていると感じました。

最後に先生方にもゆっくりと休んでいただきたいと思いました。

以上です。

■富田教育長

ありがとうございます。

いっぱい褒められましたので、中学校の先生方にお伝えしていただきたいと思います。

■黒沢委員

私は、3点についてお話したいと思います。

まず、ふるさと三沢大学生等応援給付金については、私の子供も対象になっておりました。まだ、影響はありませんが、青森県にまだ訪れていない、第1波、2波、3波とこの先どのようになるかわからないことから申請させていただきました。その申請書については、大変書きやすく、対象や条件もわかりやすかったです。既に申請件数が、619件にも到達しているというのは、そのように提出しやすかったということの成果であったと思います。収入証明等の提出もなく、対象を広げてくださり大変感謝しております。三沢市の思いがストレートに伝わる対策であったと思います。

次に、学校訪問ですが、感染症対策については、それぞれ学校側で工夫された対応が行われていました。

夏には、窓や戸を開けた状態で換気を行います。学校の場所にも依ると思いますが、飛行機の騒音が授業に差しさわりがでないのかと思いました。防音対策がされている学校でありな

がら、開けているため防音になっていませんので、室内から、窓や戸を開けた状態で騒音値を図ってみることも必要であると思いました。エアコンがある学校でも窓や戸を開けて換気をしながら温度管理をすることになります。

既に夏休みに入りましたが、登校日もありますので、エアコンが付いていない学校は、熱中症も心配です。最近の青森県は、8月より9月に気温が上昇することもあります。このことに関しては、先生方の努力ではどうにもなりませんので、不安が残るという状況を感じました。

スポーツ交流会は、子供たちにとって、今回ほど、周りの方々に感謝の気持ちを抱くような体験はなかったのではないかと思います。

そして、子供たちにとってもありがたい機会でしたが、試合が終わって、片付けをした後、子供たちが保護者に対してお礼の言葉を伝えていた選手の姿をみた時に、特に3年生の保護者にとっては、ここで一つ自分たちにも区切りをつけることができたのかなと思いました。3年生はこれから受験に向かうこととなりますが、保護者の皆様にとってもこれまで応援していた子供たちが次のステップに進むことができたことは、喜びであり良い機会になったと思いました。

三沢市内の交流会でありましたので、小学校の時には一緒に練習をしていた選手もいたと思いますが、試合を始める時に、敵同士でも笑顔でかわす場面が見受けられとても微笑ましかったです。今回の交流会ならではの様子であったと思います。

それぞれの先生方のご苦勞の下、子供たちができる限りの経験を積むことができたということは、保護者の方も子供たちも嬉しく思っていると感じ、改めて感謝申し上げます。

ありがとうございました。

■相沢委員

私も、学校訪問についてですが、主に感染症

対策を見せていただきました。各学校とも工夫をしながら、先生方が総出で協力しながら、消毒等の感染症対策を一生懸命やられているのに対し、ご苦労されていると感じ、感謝いたしました。子供たちの学校での様子は、毎日気を付けなければならないことが色々ありますが、余り神経質な様子は窺えなかったもので、思い通りの生活が送れているのかと思いつきました。マスクを着用することが、ずっと続いていて、今後も暫く続くと思いますが、今はまだ涼しいですが、これから暑くなりますので、熱中症に気を付け、状況をみながらマスクを外すなど、対策を取っていくということでした。

各校、扇風機で暑さ対策をしていましたが、パソコン室にはエアコンのない学校もありましたし、扇風機が設置されていないところもありましたので、教室以外にも必要な暑さ対策をとっていただきたいと思いました。

今回、学校の予算で消毒用アルコールやポンプ付きの手洗液を買ったり、新たに必要な物を導入したり、それを導入することにより、学校の経費の負担が増えているのではないかと心配いたしました。それぞれの学校予算の中で賅っていると思いますので、負担の増えている学校には委員会の方でも配慮をしていただければ良いと思います。

コロナ感染の状況については、東京都を中心に感染者数は増えていますが、今後はコロナ対策に関する考え方も変わっていくと思いますので、そのような状況をみながら、授業や学校活動についても可能な限り通常に戻せるように、先生方も工夫しておりましたが、音楽などはまだ制限している学校もありましたので、可能なことを探りながら、子供たちが出来るだけいつもの通りの学校生活を送れるよう配慮していただきたいと思いました。

以上です。

■立花委員

学校訪問については、それぞれ委員からお話がありました。この後、心配されるのが修学旅行の対応についてですが、学校により温度差があるように感じました。例えば、今年度は取りやめる学校や宿泊せず日帰り旅行にする学校などです。大きい学校は人数分の宿泊場所がまだ確保できないなど、学校により色々な状況がありました。まだまだ、これからも感染者が増えていくと思いますが、ワクチンができるのは、まだ先のような気がします。先を見通して決めるのは難しいと思いますし、修学旅行は学校生活では大きな思い出になる行事の一つでもありますし、中止になれば悪い思い出になってしまいます。修学旅行の決定に関しては、校長先生の大きな悩みの種でもあると思いますので、教育委員会とも相談し、漠然とですが、良い方向に進むように願っております。

また、大したことではありませんが、統一されていないと感じたのは、歯ブラシの管理の件ですが、今はまだ三沢市には感染者が出ていませんが、校内を清潔にすることは、非常に大切な事だと言われてはいますが、全部の小中学校に聞いたわけではありませんが、歯ブラシの管理ができていない学校もあるように感じました。もし、感染者が出た場合は、注意して良い提言ができるように準備しておいた方が良いのかなと感じました。

各学校の感染症対策については、こまめに、慎重に敏感過ぎるほど、丁寧に対応していると感じて安心いたしました。

以上です。

○日程第8 閉会

■富田教育長

委員の皆様から、教育委員会事業について感想等をいただきましたが、そのことについて、

課長さん方からご説明する事項がありましたらお願いします。

■教育部長

学校で購入している消毒用アルコールなどの消耗品等の件について、ご心配いただきおりましたが、これからもう少し学校予算の枠を広げて、当初よりは多く配分する予定でおりました。

以上です。

■富田教育長

学校での感染症対策に関する消耗品等の予算の措置は、財政課でも考慮してくれて、増額することにしておりますので、通常よりも多く配分することになっておりました。

また、修学旅行の件について、教育委員会から、学校へ出している方針や現在の状況について、学校教育課長からご説明をお願いします。

■学校教育課長

修学旅行に関しては、校長先生方とも協議いたしまして、三沢市の方針として、新しい発症が続いている所には行かないこととし、北海道や東京近郊へは行かないということで、小中学校ともに、主に東北あるいは北関東までとしておりました。

小学校も中学校も、修学旅行を中止にはせず、実施する方向で業者と日程・コースを検討している段階です。まだ、全ての学校が決まっているわけではありませんが、中学校では来年度に延期して実施するという学校もあります。

以上です。

■富田教育長

校長会のリーダーの方々と2週間おき位に集まり、大きい行事に関しては意見調整を継続しておりました。6月中旬位には、修学旅行に関して、教育委員会の方針を2つ出していまし

た。1つ目は、修学旅行は、中止せず実施していただきたい。2つ目は、修学旅行の目的地については、感染者が出続けている所は、避けて欲しい。要するに北海道も、東京もやめていただきたい。というように決めておりました。学校でも保護者アンケートを取っても決められない状況もあり、教育委員会で大きな枠組みを作ったので、学校の方で調整を図っているようです。ただし、今後も情勢が変わることもありますので、絶えず校長先生と検討していきたいと思っています。

他に、ございますか。

(「なし。」と声あり)

ないようですので、暫時休憩といたしまして、非公開審議のため、別室へ移動をお願いいたします。

8月定例会の日程ですが、8月28日 金曜日 午後1時10分に開催したいと考えておりますが、いかがでしょうか。

当日は、校長会による、教育委員と語る会が、2時30分に開催される予定となっておりますの。

(「異議なし。」と声あり)

ご異議ございませんので、8月定例会は、8月28日 金曜日 午後1時10分からいたしますので、よろしく願いいたします。

暫時休憩 14時45分

再開 14時54分

教育長室において、「議案第2号 令和3年度使用中学校教科用図書の採択について」及び「議案第3号 令和2年度三沢市文化賞等表彰者の提案及び社会教育委員への諮問について」を審議し、原案のとおり承認された。

閉会 15時44分

■会議録署名者

教育委員 黒 沢 のぞみ

教育委員 本 江 宏

書 記 今 村 多美代